



# 白鳳点描

## 新学期がスタートしました！ 校長 川本幸則

新学期が始まり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。感染症の拡大で心配なことは多いのですが、対策を講じながら教育活動を進めていきます。

3学期始業式では、三つのことを子どもたちに伝えました。「目標を立てること」「あいさつを自分からすること」「感染症対策」の三つです。

2学期の終業式に、反省をして、目標を立てることや家族の一人としてお手伝いができることよいと話しました。まだ、目標を立てていないのなら、3学期のスタートの今日に「少し頑張ればできる目標」を立てて、「未来の自分の姿」を考えてほしいと伝えました。また、お手伝いについても、例えば、玄関の靴をそろえるとか、お風呂を洗うとか、できることを続けてみてほしいと話しました。

そして、あいさつについては、「あいさつは人と人を結ぶことば」として大切な言葉で、自分から進んであいさつができることよいと話しました。そして、あいさつをすることで、人と人がつながり、安心を生み、安心すると笑顔が増え、楽しく過ごすことができるので、皆がにっこり笑顔で生活できる学校にしたいと伝えました。

新型コロナウイルス感染症については、これまで続けてきた、みんなができる感染症対策である「手洗いやうがい」「マスク」「換気」などから、しっかりやっ払いこうと呼びかけました。

朝、正門で子どもたちを迎えていると「おはようございます」とあいさつをしてくれる子どもたちが増えました。私の話に加え、各教室でも子どもたちにあいさつの大切さを伝えてくれたおかげと思っています。コロナ禍では、元気のよい大きな声でのあいさつは難しいですが、お互いにつながっていることが伝わるようなあいさつは続けていきたいと思っています。

また、最近寒くなってきたこともあり、真っ赤になった手で登校している子どもが多くいます。私が小学校低学年の時に、冬に「あかぎれ」や「しもやけ」ができていやな思いをしたことを思い出します。手袋をすると、ポケットに手を入れることもなく、あかぎれなどの心配もなくなりますので、お子さんの様子を見ていただけたらと思います。

## GO! YOSHINAGA 吉永一貴選手を応援しています!



皆さんもご承知とは思いますが、2月に開催予定の北京冬季オリンピック日本代表に決まったスピードスケート・ショートトラックの吉永一貴選手は、白鳳小学校の卒業生です。前回の平昌大会にも出場しました。

先日、グリーンケーブルテレビの方が来校され、吉永選手の応援動画の撮影を行いました。児童会役員と各クラスの代表が組織する代表委員会の子どもたちが、伝統芸能である「ざい」を使って応援する動画を撮影しました。この後、尾張旭市のホームページに作成される吉永選手の応援コーナーに掲載される予定です。

白鳳小の子どもたちが、吉永選手へ

の熱いエールを送っています。是非ご覧いただくと共に、子どもたちと一緒に応援していきましょう。

また、白鳳小学校に応援の横断幕を掲出しました。近隣の方だけでなく、瀬戸線からもご覧いただけたと思います。

### 新型コロナウイルス感染症が急拡大しています!

拡大を防ぐためにも、これまで行ってきた基本的な感染対策を行うとともに、本人だけでなく御家族が発熱等の風邪症状がみられたり、御家族への感染が心配される状況であったりする場合においても、お休みするようお願いいたします。

また、学校での感染拡大が心配される場合には、以前、お知らせしたように児童を緊急下校させますので、対応していただきますようお願いいたします。

